

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）交付要綱

（通則）

第1条 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）（以下「交付金」という。）の交付については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号。以下「適正化法」という。）、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号。以下「適正化令」という。）の定めによるほか、この要綱の定めるところによる。

（交付の目的）

第2条 交付金は、都道府県及び市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合等を含む。以下同じ。）が、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」のために行う取組のうち、「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」（令和元年12月5日閣議決定）を踏まえ、地域の実情・課題に応じた少子化対策を推進し、子育てしやすい生活環境を整備するために、地方自治体が実施する取組を重点的に支援することとし、もって、地域における少子化対策の推進に資することを目的とする。

（交付の対象及び補助率）

第3条 内閣総理大臣は、都道府県が行う次に掲げる事業（以下「補助事業」という。）を実施するために必要な経費（以下「総事業費」という。）のうち、交付金交付の対象として内閣総理大臣が認める経費（以下「補助対象経費」という。）について、予算の範囲内で交付金を交付する。

(1) 令和2年3月9日付け内閣府子ども・子育て本部統括官通知の別紙「令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）実施要領」（以下「実施要領」という。）の別記により都道府県が行う事業（以下「都道府県事業」という。）

(2) 実施要領の別記により市町村が行う事業に対し都道府県が交付金を交付する事業（以下「市町村事業」という。）

2 補助対象経費の区分、基準額、対象経費及び補助率は別添表のとおりとする。

3 この交付金の交付額は、次により算出するものとする。

(1) 第1項の(1)に掲げる都道府県事業に対する交付金は、次により算出するものとする。

別添表の第1欄に定める都道府県事業区分で、第3欄に定める対象経費の実支出額と総事業費から寄付金その他の収入額を控除した額とを比較して少ない方の額に第4欄の補助率を乗じて得た額と、第2欄に定める基準額とを比較して少ない方の額とする。

(2) 第1項の(2)に掲げる市町村事業に対する交付金は、次により算出するものとする。

る。

ア 別添表の第1欄に定める市町村事業区分で、市町村ごとに第3欄に定める対象経費の実支出額と総事業費から寄付金その他の収入額を控除した額とを比較して少ない方の額に第4欄の補助率を乗じて得た額と、第2欄に定める基準額とを比較して少ない方の額とする。

イ アにより算出された市町村ごとの額を合算する。

(申請手続)

第4条 この交付金の交付の申請は、次により行うものとする。

(1) 都道府県事業

都道府県知事は、別紙様式第1による申請書を別途定める日までに内閣総理大臣に提出しなければならない。

(2) 市町村事業

ア 市町村の長は、別紙様式第2による申請書を、都道府県知事が定める日までに都道府県知事に提出しなければならない。

イ 都道府県知事は、アの申請書を受理したときは、これを審査し、取りまとめの上、別紙様式第1による申請書を別途定める日までに内閣総理大臣に提出しなければならない。

2 前項の交付金の交付の申請をするに当たって、当該交付金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額（交付対象経費に含まれる消費税及び地方消費税相当額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）の規定により仕入れに係る消費税額として控除できる部分の金額及び当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）の規定による地方消費税の税率を乗じて得た金額の合計額に補助率を乗じて得た金額をいう。（以下「消費税等仕入控除税額」という。））を減額して交付申請しなければならない。ただし、申請時において消費税等仕入控除税額が明らかでないものについては、この限りでない。

(交付決定の通知)

第5条 内閣総理大臣は、前条の規定による交付金交付申請書の提出があったときは、審査の上、交付決定を行い、別紙様式第3による交付金交付決定通知書を都道府県知事に送付するものとする。

(申請の取下げ)

第6条 都道府県知事は、交付決定の内容又はこれに付された条件に対して不服があることにより、交付金の交付の申請を取り下げようとするときは、交付決定の通知を受けた日から15日以内に別紙様式第4による申請取下書を内閣総理大臣に提出しなければならない。

(契約等)

第7条 都道府県知事は、補助事業の一部を他の者に実施させる場合は、この要綱の各条項を内容とする実施に関する契約を締結し、内閣総理大臣に届けなければならない。

2 都道府県知事は、補助事業を遂行するため、売買、請負その他の契約をする場合は、一般の競争に付さなければならない。ただし、補助事業の運営上、一般の競争に付することが困難又は不適當である場合は、指名競争に付し、又は随意契約をすることができる。

(変更申請手続)

第8条 都道府県知事は、交付決定後に申請の内容を変更（軽微な変更を除く。）する場合は、あらかじめ別紙様式第5による変更交付申請書を内閣総理大臣に提出し、その承認を受けなければならない。

2 内閣総理大臣は、前項の承認をする場合において、必要に応じ交付決定の内容を変更し、又は条件を付することがある。

(補助事業の中止又は廃止)

第9条 都道府県知事は、補助事業を中止又は廃止する場合は、別紙様式第6による中止（廃止）承認申請書を内閣総理大臣に提出し、その承認を受けなければならない。

2 内閣総理大臣は、前項の申請書の提出を受け、中止又は廃止を承認した場合には、その旨を都道府県知事に通知するものとする。

(事業遅延の届出)

第10条 都道府県知事は、補助事業が予定の期間内に完了することができないと見込まれる場合又は補助事業の遂行が困難となった場合は、別紙様式第7による遅延報告書により速やかに内閣総理大臣に報告し、その指示を受けなければならない。

(状況報告)

第11条 都道府県知事は、補助事業の遂行及び支出状況について内閣総理大臣の要求があったときは、速やかに別紙様式第8による状況報告書を内閣総理大臣に提出しなければならない。

(実績報告)

第12条 この交付金の事業実績報告は、次により行うものとする。

(1) 都道府県事業

都道府県知事は、補助事業を完了したときは、その日から起算して30日を経過した日（第9条により事業の中止又は廃止の承認を受けた場合には、当該承認通知を受

理した日から起算して 30 日を経過した日) 又は翌年度の 4 月 10 日のいずれか早い日までに別紙様式第 9 の報告書を内閣総理大臣に提出しなければならない。

(2) 市町村事業

ア 市町村の長は、別紙様式第 10 を関係書類とともに、都道府県知事が定める日までに都道府県知事に提出するものとする。

イ 都道府県知事は、アの書類を受理したときは、これを審査し、取りまとめの上、別紙様式第 9 に関係書類を添えて、翌年度の 4 月 10 日 (第 9 条により事業の中止又は廃止の承認を受けた場合には、当該承認通知を受理した日から起算して 30 日を経過した日) までに内閣総理大臣に提出するものとする。

(交付金の額の確定等)

第 13 条 内閣総理大臣は、前条の報告を受けた場合には、報告書等の書類の審査及び必要に応じて現地調査等を行い、その報告に係る補助事業の実施結果が交付金の交付の決定の内容 (第 8 条に基づく承認をした場合は、その承認された内容) 及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき交付金の額を確定し、別紙様式第 11 による額の確定通知書により都道府県知事に通知する。

2 内閣総理大臣は、都道府県知事に交付すべき交付金の額を確定した場合において、既にその額を超える交付金が交付されているときは、その超える部分の交付金の返還を命ずる。

3 前項の交付金の返還期限は、当該命令のなされた日から 20 日とし、期限内に納付がない場合は、未納に係る金額に対して、その未納に係る期間に応じて年利 10.95% の割合で計算した延滞金を徴するものとする。

(消費税等仕入控除税額の確定に伴う交付金の返還)

第 14 条 都道府県知事は、前条の規定に基づく交付対象事業等に係る交付金の額の確定後に、消費税及び地方消費税の申告により交付金に係る消費税等仕入控除税額が確定した場合には、別紙様式第 12 により速やかに内閣総理大臣に報告しなければならない。

2 内閣総理大臣は、前項の報告があった場合には、当該消費税等仕入控除税額の全部又は一部の返還を命ずる。

3 前項の返還については、前条第 3 項の規定を準用する。

(交付金の支払)

第 15 条 交付金は、第 13 条の規定により交付すべき交付金の額を確定した後に支払うものとする。ただし、真に必要なと認められる経費については、概算払をすることができる。

2 都道府県知事は、前項の規定により交付金の概算払を受けようとするときは、別紙様式第 13 による概算払請求書を内閣総理大臣に提出しなければならない。なお、概算払

の請求は、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 58 条ただし書に基づく、財務大臣との協議が調った日以降とする。

（交付決定の取消等）

第 16 条 内閣総理大臣は、第 9 条の補助事業の中止又は廃止の申請があった場合及び次に掲げる場合には、第 5 条の交付の決定の全部若しくは一部を取り消し又は変更することができる。

- （1）都道府県知事が、法令、本要綱又は法令若しくは本要綱に基づく内閣総理大臣の処分若しくは指示に違反した場合
- （2）都道府県知事が、交付金を本事業以外の用途に使用した場合
- （3）都道府県知事が、補助事業に関して不正、怠慢その他不適当な行為をした場合
- （4）交付の決定後生じた事情の変更等により、補助事業の全部又は一部を継続する必要がなくなった場合

2 内閣総理大臣は、前項の取消をした場合において、既に当該取消に係る部分に対する交付金が交付されているときは、期限を付して当該交付金の全部又は一部の返還を命ずる。

3 内閣総理大臣は、前項の返還を命ずる場合には、その命令に係る交付金の受領の日から納付の日までの期間に応じて、年利 10.95%の割合で計算した加算金の納付を併せて命ずるものとする。

4 第 2 項に基づく交付金の返還及び前項の加算金の納付については、第 13 条第 3 項の規定を準用する。

（財産の管理等）

第 17 条 都道府県知事は、補助対象経費（補助事業を他の団体に実施させた場合における対応経費を含む。）により取得し、又は効用の増加した財産（以下「取得財産等」という。）については、補助事業の完了後においても、善良な管理者の注意をもって管理し、交付金交付の目的に従って、その効率的運用を図らなければならない。

2 取得財産等を処分することにより、収入があり、又はあると見込まれるときは、その収入の全部又は一部を国に納付させることがある。

（財産の処分の制限）

第 18 条 取得財産等のうち適正化令第 13 条第 4 号の規定により、内閣総理大臣が定める機械及び重要な器具は、取得価格又は効用の増加価格が 50 万円以上の機械及び重要な器具とする。

2 適正化法第 22 条に定める財産の処分を制限する期間は、交付金交付の目的及び減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）を勘案して、内閣総

理大臣が定める期間とする。

- 3 都道府県知事は、前項の規定により定められた期間中において、処分を制限された取得財産等を処分しようとするときは、あらかじめ別紙様式第 14 による財産処分承認申請書を提出し、内閣総理大臣の承認を受けなければならない。
- 4 前条第 2 項の規定は、前項の承認をする場合において準用する。

(交付金の経理)

- 第 19 条 都道府県知事は、補助事業についての収支簿を備え、他の経理と区分して補助事業の収入額及び支出額を記載し、交付金の使途を明らかにしておかなければならない。
- 2 都道府県知事は、前項の支出額について、その支出内容を証する書類を整備して、前項の収支簿とともに、補助事業の完了の日の属する年度の終了後 5 年間保存しなければならない。

(交付金調書)

- 第 20 条 都道府県知事は、当該補助事業に係る歳入歳出の予算書並びに決算書における計上科目及び科目別計上金額を明らかにする別紙様式第 15 による調書を作成しておかなければならない。

(間接補助に対して付すべき条件)

- 第 21 条 都道府県知事は、市町村の長に交付金を交付するときは、第 7 条から第 20 条（第 12 条、第 13 条及び第 15 条を除く。）までの規定に準ずる条件を付さなければならない。

(別添表)

補助対象経費の区分及び補助率

1 区分	2 基準額	3 対象経費	4 補助率
都道府県事業	6, 6 6 6 万円	地域少子化対策重点 推進事業に必要な諸 謝金、報酬、給料、職 員手当等、報償費、旅 費、需用費、役務費、 委託料、使用料及び賃 借料、備品購入費、負 担金、補助金	2 / 3 (注 1) 1 / 2 (注 2)
市町村事業	政令指定都市・中核市・特別区 1 市区につき 2, 0 0 0 万円 上記以外の市町村 1 市町村につき 1, 0 0 0 万円	地域少子化対策重点 推進事業に必要な諸 謝金、報酬、給料、職 員手当等、報償費、旅 費、需用費、役務費、 委託料、使用料及び賃 借料、備品購入費、負 担金、補助金	2 / 3 (注 1) 1 / 2 (注 2)

注 1 : 実施要領別記事業メニューのうち 1 又は 2 に該当するもの。

注 2 : 実施要領別記事業メニューのうち 3 に該当するもの。

地域少子化対策重点推進交付金 様式一覧

別紙様式 1		交付申請書（内閣総理大臣宛）
（別紙様式第 1 関係様式）	様式 1 - 1	所要額調
	様式 1 - 2	実施計画総括表
	様式 2 - 1	実施計画書（都道府県分）
	様式 2 - 2	実施計画書（都道府県分）個票
	様式 3 - 1	実施計画書（市町村分）
	様式 3 - 2	実施計画書（市町村分）個票
別紙様式第 2		交付申請書（都道府県知事宛）
（別紙様式第 2 関係様式）	様式 1	所要額調
	様式 2	実施計画総括表
	様式 3 - 1	実施計画書（市町村分）
	様式 3 - 2	実施計画書（市町村分）個票
別紙様式第 3		交付決定通知書
別紙様式第 4		交付申請取下書
別紙様式第 5		変更交付申請書
別紙様式第 6		中止（廃止）承認申請書
別紙様式第 7		事業遅延報告書
別紙様式第 8		事業状況報告書
別紙様式第 9		実績報告書（内閣総理大臣宛）
（別紙様式第 9 関係様式）	様式 1 - 1	精算書
	様式 1 - 2	総括表
	様式 2 - 1	実施報告書（都道府県分）
	様式 2 - 2	実施報告書（都道府県分）個票
	様式 3 - 1	実施報告書（市町村分）
	様式 3 - 2	実施報告書（市町村分）個票
別紙様式第 10		実績報告書（都道府県知事宛）
（別紙様式第 10 関係様式）	様式 1	精算書
	様式 2	総括表
	様式 3 - 1	実施報告書（市町村分）
	様式 3 - 2	実施報告書（市町村分）個票
別紙様式第 11		確定通知書
別紙様式第 12		消費税等仕入控除税額報告書
別紙様式第 13		概算払請求書
別紙様式第 14		財産処分承認申請書
別紙様式第 15		交付金調書

別紙様式第 1

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の交付申請について

標記について、次により交付金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1 交付金申請額

〔 内訳

金		千円
都道府県事業	金	千円
市町村事業	金	千円

2 添付書類

- (1) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進交付金所要額調（様式 1-1）
- (2) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進事業実施計画総括表（様式 1-2）
- (3) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進事業実施計画書（様式 2-1、3-1）
- (4) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進事業実施計画書個票（様式 2-2、3-2）
- (5) 歳入歳出予算書（見込書）抄本

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金(令和元年度補正予算)所要額調 都道府県名

市区町村名	総事業費	寄付金その他の収入額	差引額	対象経費支出予定額	基準額 (優良事例の横展開支援事業)	基準額 (結婚新生活支援事業)	基準額合計	交付金所要額	備考
	A	B	C(A-B)	D	E	F	G(E+F)	H	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
1. 都道府県事業	0		0	0			0	0	
2. 市町村事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
(1)	0		0	0			0	0	
(2)	0		0	0			0	0	
(3)	0		0	0			0	0	
(4)	0		0	0			0	0	
(5)	0		0	0			0	0	
(6)	0		0	0			0	0	
(7)	0		0	0			0	0	
(8)	0		0	0			0	0	
(9)	0		0	0			0	0	
(10)	0		0	0			0	0	
(11)	0		0	0			0	0	
(12)	0		0	0			0	0	
(13)	0		0	0			0	0	
(14)	0		0	0			0	0	
(15)	0		0	0			0	0	
(16)	0		0	0			0	0	
(17)	0		0	0			0	0	
(18)	0		0	0			0	0	
(19)	0		0	0			0	0	
(20)	0		0	0			0	0	
3. 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 1 B欄には、交付要綱第3条にいう寄付金その他の収入額を記入すること。
 2 E欄及びF欄には、交付要綱第3条に定める基準額を記入すること。
 3 H欄には、C欄とD欄を比較して少ない方の額に別添表に定める補助率を乗じた額(千円未満切捨て)と、G欄を比較して少ない方の額を記入すること。ただし、H欄について、上記金額に比して各自治体の個票の合計額の方が少ない場合にはその額を記入すること。
 4 「備考」欄には、結婚新生活支援事業を実施する際には支給見込世帯数、変更交付申請の際には当該変更部分がかかる字句を記載すること。
 5 金額がない場合には「0」を記入すること。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画総括表

都道府県名

事業実施者	事業一覧			所要見込額
	1. 自治体間連携を伴う取組に対する支援	2. 子育てに寄り添う地域づくり支援	3. 優良事例の横展開支援	
				(0千円) 千円
				(0千円) 千円
				(0千円) 千円
				(0千円) 千円
				(0千円) 千円
				(0千円) 千円
注 1 都道府県事業及び市町村事業について全て記入すること 注 2 「事業一覧」には、各事業実施計画書に記入した個別事業名を記入すること 注 3 「所要見込額」には、都道府県事業及び市町村事業それぞれの計画全体の対象経費支出予定額を記入すること。交付金所要額を上段括弧書きすること。				(0千円) 0 千円

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(都道府県分)

都道府県名

都道府県名			自治体コード:	
事業名			所要見込額 ※(注)1	0 千円
実施期間	交付決定日 ~			
地域の実情と課題 <small>(これまでの都道府県における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2</small>				
都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4				
参考指標 ※(注)5	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等			
事業内容	1. 自治体間連携を伴う取組に対する支援		所要見込額	0 千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	2. 子育てに寄り添う地域づくり支援		所要見込額	0 千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円

3. 優良事例の横展開支援		所要見込額	0 千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6			

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの都道府県における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、都道府県の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各都道府県は少なくとも令和元年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施し、その結果を報告すること。

5「参考指標」には、各都道府県の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。

		KPI項目	単位	目標値
個別事業の内容	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)3			
	・市町村との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)4			
	・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法※(注)5			
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)6	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)		
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約(事業の内容) (随契の理由)		
	・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 { 取組名: } <input type="checkbox"/> 無 有の場合の担当部局:		

(注)

- 1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。
- 2「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 3「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各都道府県は、個別事業ごとに効果検証を実施し、その詳細な結果を別に定める日までに報告すること。
- ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
(過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)
- 4「市町村との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 5「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。
- 6「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとにならないようする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。
- 7「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。
- 8「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(市町村分)

都道府県名

市 町 村 名				自治体コード:	
事 業 名				所要見込額 ※(注)1	0 千円
実 施 期 間	交付決定日 ~				
地域の实情と課題(これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の实情と課題について記述) ※(注)2					
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4					
参考指標 ※(注)5	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等				
事業内容	1. 自治体間連携を伴う取組に対する支援			所要見込額	0 千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	2. 子育てに寄り添う地域づくり支援			所要見込額	0 千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円

3. 優良事例の横展開支援		所要見込額	0 千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6			

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は少なくとも令和元年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。

5「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。

	KPI項目	単位	目標値	
個別事業の内容	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)3			
	・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)4			
	・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5			
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)6	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)		
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約(事業の内容) (随契の理由)		
	・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名: _____ 有の場合の担当部局: _____		

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。

2「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。※個別事業を次年度以降も自主的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

3「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

(過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)

4「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

5「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

6「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関連部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

7「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

別紙様式第2

番 号
令和 年 月 日

都道府県知事 殿

市町村の長

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の交付申請について

標記について、次により交付金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1 交付金申請額

金	千円
---	----

2 添付書類

- (1) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進交付金所要額調（様式1）
- (2) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進事業実施計画総括表（様式2）
- (3) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進事業実施計画書（様式3-1）
- (4) 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
地域少子化対策重点推進事業実施計画書個票（様式3-2）
- (5) 歳入歳出予算書（見込書）抄本

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金(令和元年度補正予算)所要額調

都道府県名

市区町村名	総事業費	寄付金その他の収入額	差引額	対象経費支出予定額	基準額 (優良事例の横展開支援事業)	基準額 (結婚新生活支援事業)	基準額合計	交付金所要額	備考
	A 千円	B 千円	C(A-B) 千円	D 千円	E 千円	F 千円	G(E+F) 千円	H 千円	
(1)	0		0	0					

(注)

- 1 B欄には、交付要綱第3条にいう寄付金その他の収入額を記入すること。
- 2 E欄及びF欄には、交付要綱第3条に定める基準額を記入すること。
- 3 H欄には、C欄とD欄を比較して少ない方の額に別添表に定める補助率を乗じた額(千円未満切捨て)と、G欄を比較して少ない方の額を記入すること。ただし、H欄について、上記金額に比して各自治体の個票の合計額の方が少ない場合にはその額を記入すること。
- 4 「備考」欄には、結婚新生活支援事業を実施する際には支給見込世帯数、変更交付申請の際には当該変更部分がかかる字句を記載すること。
- 5 金額がない場合には「0」を記入すること。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画総括表

都道府県名

事業実施者	事業一覧			所要見込額
	1. 自治体間連携を伴う取組に対する支援	2. 子育てに寄り添う地域づくり支援	3. 優良事例の横展開支援	
				(0千円) 0 千円
注 1 市町村事業について全て記入すること 2 「事業一覧」には、各事業実施計画書に記入した個別事業名を記入すること 3 「所要見込額」には、市町村事業それぞれの計画全体の対象経費支出予定額を記入すること。交付金所要額を上段括弧書きすること。				(0千円) 0 千円

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(市町村分)

都道府県名

市 町 村 名				自治体コード:	
事 業 名				所要見込額 ※(注)1	0 千円
実 施 期 間	交付決定日 ~				
地域の実情と課題(これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2					
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4					
参考指標 ※(注)5	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等				
事業内容	1. 自治体間連携を伴う取組に対する支援			所要見込額	0 千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	2. 子育てに寄り添う地域づくり支援			所要見込額	0 千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円
	個別事業名			所要見込額	千円

3. 優良事例の横展開支援		所要見込額	0 千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
個別事業名		所要見込額	千円
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6			

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえ、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は少なくとも令和元年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。

5「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(市町村分)個票

市区町村名 (都道府県:)

本事業の担当部局名

事業メニュー	
区分	
関連事業メニュー	
個別事業名	
実施期間	交付決定日 ~
所要見込額 ※(注)1	千円 補助率: (交付金所要額: 千円)
個別事業の内容	(個別事業の内容) ※(注)2

	KPI項目	単位	目標値	
個別事業の内容	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)3			
	・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)4			
	・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5			
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)6	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)		
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約(事業の内容) (随契の理由)		
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名: 有の場合の担当部局:			

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。

2「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。※個別事業を次年度以降も自主的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

3「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

(過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)

4「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

5「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

6「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関連部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

7「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

番 号
令和 年 月 日

都道府県知事 殿

内閣総理大臣

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）交付決定通知書

令和 年 月 日付け 番 号で申請のあった令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）（以下「適正化法」という。）第6条第1項の規定により、次のとおり交付することに決定したので、適正化法第8条の規定により通知する。

- 1 交付金の交付の対象となる事業（以下「事業」という。）は、令和 年 月 日付け 番 号内閣総理大臣通知の別紙「令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）交付要綱」（以下「交付要綱」という。）の第3条に定める事業であり、その内容は令和 年 月 日付け 番 号 申請書記載のとおりである。
- 2 事業に要する経費、経費の配分及びこれらに対応する交付金の額は、次のとおりである。ただし、事業の内容が変更された場合において、事業に要する経費又は交付金の額が変更されるときは、別に通知するところによるものとする。

総事業費	金	千円
うち都道府県事業	金	千円
市町村事業	金	千円
交付決定額	金	千円
うち都道府県事業	金	千円
市町村事業	金	千円

- 3 交付金の額の確定は、交付要綱の第3条に定める交付額の算定方法により行うものである。
- 4 事業に係る事業実績報告は、交付要綱の第12条に定めるところにより行わなければならない。
- 5 この交付の決定の内容又は条件に不服がある場合における適正化法第9条第1項の規定による申請の取下げをすることができる期限は、令和 年 月 日とする。

別紙様式第4

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
申請取下げについて

令和 年 月 日付 第 号で交付の申請を行った標記交付金の実施については、その申請を取り下げたく、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第9条第1項の規定により、下記のとおり申請する。

記

1 申請を行った年月日

令和 年 月 日

2 申請を取り下げる理由

別紙様式第5

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の変更交付申請について

令和 年 月 日付け 番 号で交付決定を受けた標記交付金については、
次により変更交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1	今回追加交付（一部取消）申請額	金	千円
	内訳	交付金既交付決定額	金 千円
		変更後交付金所要額	金 千円

		交付金既交付 決定額(A)	変更後交付金 所要額(B)	今回追加交付(一部 取消)申請額 (B)－(A)
令和元年度地域少子化 対策重点推進交付金 (令和元年度補正予算)		千円	千円	千円
内 訳	都道府県事業			
	市町村事業			

2 変更を必要とする理由

3 変更に必要な諸様式については、申請手続の様式に準ずる。

(注)最後に受けた交付決定通知書(写)を添付すること。

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の中止（廃止）承認申請について

令和 年 月 日付け 番号で交付決定のあった標記事業を下記のとおり
中止（廃止）したいので、令和2年度地域少子化対策重点推進交付金交付要綱第9
条第1項の規定に基づき申請する。

記

- 1 自治体名
- 2 個別事業名
- 3 既交付決定額
- 4 支出済額
- 5 支出未済額
- 6 中止（廃止）を必要とする理由及び発生年月日
【理由】

【発生年月日】

番
令和 年 月 日
号

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の事業遅延について

令和 年 月 日付け 番 号で交付決定のあった事業に遅延等が生じたので、
令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）交付要綱第10
条第1項の規定に基づき報告する。

記

1 自治体名

2 個別事業名

3 既交付決定額

4 支出済額

5 支出未済額

6 遅延理由及び発生年月日

【理由】

【発生年月日】

7 交付金事業の進捗状況（遅延に対して採った措置等）及び完了の予定

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
状況報告について

令和 年 月 日付け 番 号をもって報告を求められた〇〇事業の遂行状況
について、下記のとおり報告する。

記

1. 事業の遂行状況(令和 年 月 日現在)
2. 事業に要する経費の収支状況
3. その他参考となる事項

(注)

- 1 「事業の遂行状況」については、本交付金の補助対象事業の実施状況のみの
記入で差し支えない(既存事業や他の補助金等を活用した事業に関する状況の
記入は要しない。)
- 2 記入しきれない場合は、別様とすることも差し支えない。また、適宜参考となる
資料を添付すること。

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の事業実績報告について

令和 年 月 日付け 番 号で交付決定を受けた標記交付金に係る事業実績
について、次の関係書類を添えて報告する。

（添付書類）

- 1 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
精算書（様式1-1）
- 2 令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
実施報告総括表（様式1-2）
- 3 令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
実施報告書（様式2-1、3-1）
- 4 令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
実施報告書個票（様式2-2、3-2）
- 5 歳入歳出決算書（見込書）抄本
（内訳として、支給実績内訳書（任意様式）等を添付すること。）
- 6 都道府県知事が市町村長へ発出した額の確定通知書（写）
- 7 内閣総理大臣が都道府県知事へ最後に発出した交付決定通知書（写）
- 8 補助事業に係る実施要綱・実施要領等（様式除く）
（「優良事例の横展開支援事業」において補助金を支出する事業を実施した場
合及び「結婚新生活支援事業」を実施した場合）

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金(令和元年度補正予算)精算書

都道府県名

市区町村名	総事業費 A	寄付金その他の 収入額 B	差引額 C(A-B)	対象経費 実支出額 D	基準額 E	交付金所要額 F	交付金 交付決定額 G	交付金 受入済額 H	差引過不足額 H-F		備考
									超過額 I	不足額 J	
									円	円	
1. 都道府県事業	0		0	0		0		0	0		
2. 市町村事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(1)			0						0	0	
(2)			0						0	0	
(3)			0						0	0	
(4)			0						0	0	
(5)			0						0	0	
(6)			0						0	0	
(7)			0						0	0	
(8)			0						0	0	
(9)			0						0	0	
(10)			0						0	0	
(11)			0						0	0	
(12)			0						0	0	
(13)			0						0	0	
(14)			0						0	0	
(15)			0						0	0	
(16)			0						0	0	
(17)			0						0	0	
(18)			0						0	0	
(19)			0						0	0	
(20)			0						0	0	

- (注) 1 B欄には、交付要綱第3条にいう寄付金その他の収入額を記入すること。
 2 E欄には、交付要綱第3条に定める基準額を記入すること。
 3 F欄には、C欄とD欄を比較して少ない方の額に別添表に定める補助率を乗じた額(円未満切捨て)と、G欄を比較して少ない方の額を記入すること。
 ただし、F欄について、上記金額に比して各自治体の個票の合計額の方が少ない場合にはその額を記入すること。
 4 I欄の合計がJ欄の合計を超えている場合には返納額を、J欄の合計がI欄の合計を超えている場合には精算払額をK欄に記載すること。
 5 金額がない場合には「0」を記入すること。

精算払額・返納額 K
0円

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施報告総括表

都道府県名

事業実施者	事業一覧			実績額
	1 自治体間連携を伴う取組に対する支援	2 子育てに寄り添う地域づくり支援	3 優良事例の横展開支援	
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円
				(0) 0 円

注 1 都道府県事業及び市町村事業について全て記入すること
 2 「事業一覧」には、各事業実施計画書に記入した個別事業名を記入すること
 3 「実績額」には、都道府県事業及び市町村事業それぞれの個別事業の対象経費実支出額の合計を記入すること。交付金所要額を上段括弧書きすること。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施報告書(都道府県分)

都道府県名

都道府県名	自治体コード:		
事業名		実績額 ※(注)1	(0) 0円
実施期間	～		
地域の実情と課題(これまでの都道府県における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2			
都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4			
参考指標 ※(注)5	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等		
事業内容	1 自治体間連携を伴う取組に対する支援	実績額	(0) 0円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	2 子育てに寄り添う地域づくり支援	実績額	(0) 0円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	3 優良事例の横展開支援	実績額	(0) 0円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
内閣府「地方創生推進交付金」の活用実績 ※(注)6			

(注)

1「実績額」には、本交付金の対象経費実支出額を記入すること。交付金所要額を上段括弧書きすること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの都道府県における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえ、都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されたかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、都道府県の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各都道府県は少なくとも令和元年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施し、その結果を報告すること。

5「参考指標」には、各都道府県の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告すること。

6「内閣府「地方創生推進交付金」の活用実績」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施報告書(都道府県分)個票

市区町村名 (都道府県:)本事業の担当部局名

事業メニュー	<input type="text"/>
区分	<input type="text"/>
関連事業メニュー	<input type="text"/>
個別事業名	<input type="text"/>
実施期間	～
交付決定額	円 補助率: <input type="text"/> (交付金所要額: <input type="text"/> 0 円)
実績額※(注)1	円 補助率: <input type="text"/> (交付金所要額: <input type="text"/> 円)
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け※(注)2	<input type="text"/>
個別事業の内容	<p>(個別事業の実績) ※(注)3 <現状と課題></p> <p><上記課題に対する令和元年度事業における対応></p> <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p>

	<p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>【事業実施に当たっての留意点】</p>
--	--

		KPI項目	単位	目標値	実績値
		・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標の結果 ※(注)4	<アウトプット> <アウトカム>		
個別事業の内容	・市町村との連携・役割分担の取組結果 ※(注)5				
	・民間事業者との連携・役割分担の取組結果 ※(注)6				
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)			
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約(事業の内容) (随契の理由)			
	・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名: 有の場合の担当部局:			

(注)

1「実績額」には、本交付金の対象経費実支出額を記入すること。併せて、「交付金所要額」には「実績額」に補助率を乗じた額(円未満切り捨て)を記入すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行ったか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあったのか、どのように他事業との取組と連携していたのかを記載すること。

3「個別事業の実績」には、個別事業の具体的な実績を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標の結果」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような成果となったか記載すること。なお、各都道府県は、個別事業ごとに効果検証を実施し、その詳細な結果を別に定める日までに報告すること。

(過去に設定したKPIも記載すること。)

5「市町村との連携・役割分担の取組結果」には、本個別事業を市町村と連携のもと実施した場合、その取組結果を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の取組結果」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施した場合、その取組結果を記載すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮したことを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を行った場合は、事業の内容及び随意契約とした理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施報告書(市町村分)

都道府県名

市 町 村 名		自治体コード:	
事 業 名		実績額 ※(注)1	(0) 0 円
実 施 期 間	~		
地域の実情と課題(これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2			
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4			
参考指標 ※(注)5	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等		
事業内容	1 子育てに寄り添う地域づくり支援	実績額	(0) 0 円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	2 地方自治体と連携した企業・団体・学校等の自主的な取組に対する支援	実績額	(0) 0 円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	3 自治体間連携を伴う取組に対する支援	実績額	(0) 0 円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円

	4 優良事例の横展開支援		実績額	(0) 0 円
	個別事業名		実績額	円
	個別事業名		実績額	円
	個別事業名		実績額	円
内閣府「地方創生推進交付金」の活用実績※ (注)6				

(注)

1「実績額」には、本交付金の対象経費実支出額を記入すること。交付金所要額を上段括弧書きすること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「市町村における少子化対策の全体像及びその中の本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載する。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されたかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は少なくとも令和元年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。

5「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告すること。

6「内閣府「地方創生推進交付金」の活用実績」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。

	<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>【事業実施に当たっての留意点】</p>
--	---

		KPI項目	単位	目標値	実績値
		・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標の結果 ※(注)4	<アウトプット>		
<アウトカム>					
個別事業の内容	・都道府県との連携・役割分担の取組結果 ※(注)5				
	・民間事業者との連携・役割分担の取組結果 ※(注)6				
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)			
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) (随契の理由)			
	・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名： 有の場合の担当部局：			

(注)

1「実績額」には、本交付金の対象経費実支出額を記入すること。併せて、「交付金所要額」には「実績額」に補助率を乗じた額(円未満切り捨て)を記入すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行ったか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあったのか、どのように他事業との取組と連携していたのかを記載すること。

3「個別事業の実績」には、個別事業の具体的な実績を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標の結果」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような成果となったか記載すること。なお、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。

(過去に設定したKPIも記載すること。)

5「都道府県との連携・役割分担の取組結果」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施した場合、その取組結果を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の取組結果」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施した場合、その取組結果を記載すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮したことを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を行った場合は、事業の内容及び随意契約とした理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

番 号
令和 年 月 日

都道府県知事 殿

市町村の長

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の事業実績報告について

令和 年 月 日付け 番 号で交付決定を受けた標記交付金に係る事業実績
について、次の関係書類を添えて報告する。

（添付書類）

- 1 令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
精算書（様式1）
- 2 令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
実施報告総括表（様式2）
- 3 令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
実施報告書（様式3-1）
- 4 令和元年度地域少子化対策重点推進事業（令和元年度補正予算）
実施報告書個票（様式3-2）
- 5 歳入歳出決算書（見込書）抄本
（内訳として、支給実績内訳書（任意様式）等を添付すること。）
- 6 その他必要書類

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金(令和元年度補正予算)精算書

都道府県名

市区町村名	総事業費	寄付金その他の収入額	差引額	対象経費 実支出額	基準額	交付金所要額	交付金 交付決定額	交付金 受入済額	差引過不足額 H-F		備考
	A	B	C(A-B)	D	E	F	G	H	超過額 I	不足額 J	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
(1) 	0		0	0		0			0	0	

- (注) 1 B欄には、交付要綱第3条にいう寄付金その他の収入額を記入すること。
 2 E欄には、交付要綱第3条に定める基準額を記入すること。
 3 F欄には、C欄とD欄を比較して少ない方の額に別添表に定める補助率を乗じた額(円未満切捨て)と、G欄を比較して少ない方の額を記入すること。
 ただし、F欄について、上記金額に比して各自治体の個票の合計額の方が少ない場合にはその額を記入すること。
 4 I欄の合計がJ欄の合計を超えている場合には返納額を、J欄の合計がI欄の合計を超えている場合には精算払額をK欄に記載すること。
 5 金額がない場合には「0」を記入すること。

精算払額・返納額 K
0円

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施報告総括表

都道府県名 0

事業実施者	事業一覧			実績額
	1 自治体間連携を伴う取組に対する支援	2 子育てに寄り添う地域づくり支援	3 優良事例の横展開支援	
0				(0) 0 円
注 1 市町村事業について全て記入すること 2 「事業一覧」には、各事業実施計画書に記入した個別事業名を記入すること 3 「実績額」には、市町村事業それぞれの個別事業の対象経費実支出額の合計を記入すること。交付金所要				(0) 0 円

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施報告書(市町村分)

都道府県名

市 町 村 名		自治体コード:	
事業名		実績額 ※(注)1	(0) 0 円
実施期間	~		
地域の実情と課題(これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2			
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4			
参考指標 ※(注)5	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等		
事業内容	1 自治体間連携を伴う取組に対する支援	実績額	(0) 0 円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	2 子育てに寄り添う地域づくり支援	実績額	(0) 0 円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	3 優良事例の横展開支援	実績額	(0) 0 円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
	個別事業名	実績額	円
内閣府「地方創生推進交付金」の活用実績※(注)6			

(注)

1「実績額」には、本交付金の対象経費実支出額を記入すること。交付金所要額を上段括弧書きすること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載する。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されたかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、市町村の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は少なくとも令和元年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。

5「参考指標」には、各市町村の婚姻数、婚姻率、出生数、出生率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、毎年、その推移を報告すること。

6「内閣府「地方創生推進交付金」の活用実績」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。)

7 適宜参考となる資料を添付すること。

	<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>【事業実施に当たっての留意点】</p>
--	---

		KPI項目	単位	目標値	実績値
		・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標の結果 ※(注)4	<アウトプット>		
個別事業の内容	・都道府県との連携・役割分担の取組結果 ※(注)5				
	・民間事業者との連携・役割分担の取組結果 ※(注)6				
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) (配慮すること)			
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) (随契の理由)			
	・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名： 有の場合の担当部局：			

(注)

1「実績額」には、本交付金の対象経費実支出額を記入すること。併せて、「交付金所要額」には「実績額」に補助率を乗じた額(円未満切り捨て)を記入すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行ったか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあったのか、どのように他事業との取組と連携していたのかを記載すること。

3「個別事業の実績」には、個別事業の具体的な実績を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標の結果」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような成果となったか記載すること。なお、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。
(過去に設定したKPIも記載すること。)

5「都道府県との連携・役割分担の取組結果」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施した場合、その取組結果を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の取組結果」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施した場合、その取組結果を記載すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮したことを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を行った場合は、事業の内容及び随意契約とした理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

番 号
令和 年 月 日

都道府県知事 殿

内閣総理大臣

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
の額の確定について（通知）

令和 年 月 日付け 番 号をもって実績報告の提出があった標記交付金については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和 30 年法律第 179 号）第 15 条の規定に基づき、交付すべき交付金の額を確定したので、同条の規定に基づき、通知する。

記

交付すべき交付金の額 円

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）
に係る消費税等仕入控除税額報告書

令和 年 月 日付け 番 号で交付の決定（又は変更決定）通知がありました
交付金について、令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予
算）交付要綱第 14 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1	令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）交付要綱 第 13 条の規定による交付金額の確定額 （令和 年 月 日付け 番 号による交付金交付決定額）	金	円
2	実績報告時に減額した消費税仕入控除税額	金	円
3	消費税の申告により確定した消費税仕入控除税額	金	円
4	補助金返還相当額 （3－2）	金	円

（注） 事業実施主体ごとの内訳資料その他参考となる資料を添付してください。

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）概算払請求書

令和 年 月 日付け 番 号をもって交付金の交付決定通知のあった事業について、下記により金 千円を概算払によって交付を受けるため、令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）交付要綱第 15 条第 2 項の規定により、下記のとおり請求する。

記

令和 年 月 日現在

区 分	交付決定済額 (A)	既受領額 (B)	今回請求額 (C)	残高 $A - (B + C)$	事業完了 予定 年 月 日
令和元年度地域少子化対策重点推進交付金（令和元年度補正予算）					

番 号
令和 年 月 日

内閣総理大臣 殿

都道府県知事

補助金等に係る財産処分承認申請書（機械器具等）

補助金等に係る財産処分について、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第 22 条の規定により、下記のとおり承認して下さるよう関係書類を添えて申請する。

記

1 処分の内容

事業名	財産名	規格	数量	単価	金額	取得 年月日	耐用 年数	処分 内容	処分予定 年月日
				円	円				

2 経過及び処分の理由

3 添付資料

- (1) 実績報告書及び額の確定通知書の写し
- (2) その他参考資料

別紙様式第15

令和元年度地域少子化対策重点推進交付金(令和元年度補正予算)調書

平成 年度内閣府所管

(地方公共団体名)

国			地方公共団体								備考
歳出予算科目	交付決定の額	交付率	歳入			歳出					
			科目	予算現額	収入済額	科目	予算現額	うち交付金相当額	支出済額	うち交付金相当額	
	円			円	円		円	円	円	円	

- 1 「地方公共団体」の「科目」は、歳入にあつては款、項、目、節を、歳出にあつては、款、項、目をそれぞれ記入すること。
- 2 「予算現額」は、歳入にあつては、当初予算額、補正予算額等の区分を、歳出にあつては、当初予算額、補正予算額、予備費支出額、流用増減等の区分を明らかにして記入すること。
- 3 「備考」欄は、参考となるべき事項を適宜記入すること。